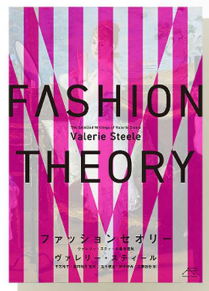


ファッションセオリー

——ヴァレリー・スティール著作選集

を読む

身体 欲望 フェティシズム



ヴァレリー・スティール
『ファッションセオリー ——ヴァレリー・スティール著作選集』
■監訳者 平芳裕子、蘆田裕史
■訳者 五十棲亘、鈴木彩希、工藤源也
■発行・発売 アダチプレス

登壇者

近藤銀河 (東京藝術大学大学院 美術研究科 博士課程)

村上由鶴 (秋田公立美術大学 ビジュアルアーツ専攻 助教)

鈴木彩希 (関東学院大学 人間共生学部 講師)

司会 五十棲亘 (京都服飾文化研究財団 アシスタントキュレーター)

ヴァレリー・スティールは、FITミュージアムの館長として、展覧会実践と学術研究を横断しながら、

これまで40年以上にわたりファッション・スタディーズを

牽引してきた。日本オリジナルの著作選集である本書は、

ファッションを単なる流行や装飾としてではなく、身体と

社会を結ぶ文化的実践として捉え直す視点を提示する。

『ファッションとエロティシズム——ヴィクトリア朝からジャズ・エイジにいたる女性美の理想』(1985年)に始まる彼女の研究は、衣服の歴史がいかにジェンダー／セクシュアリティのあり方を構築してきたかを問い続けてきた。

本イベントでは、フェミニズムやクィア・スタディーズの観点から視覚文化を批判的に検討してきた研究者を迎え本書の「3. ジェンダーとセクシュアリティ」に

収められた論考を中心に、ファッションを媒介に生じる欲望と規範の関係に焦点を当てる。ファッションが身体の

あり方や自己像をどう組み替えるのか、その微かなゆらぎを参加者とともに探る。

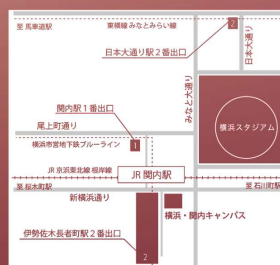
2025
12
20

14:00 ~ 16:00

会場

関東学院大学 関内キャンパス
YK-1603教室

〒231-8328 神奈川県横浜市中区万代町1丁目1-1



<https://forms.gle/iTHUrJMpFC5FIC4FA>

参加費：無料 / 先着40名

上記QRコードから
Googleフォームでの参加登録を
よろしくお願いします

主催 科学研究費補助金 基盤研究(B)「ミュージアムにおけるファッション展の日本的に関する総合研究」[JPS23K25274]
研究代表者：神戸大学大学院 人間発達環境学研究所 平芳裕子教授
協力 神戸大学大学院 人間発達環境学研究所 表現系

お問い合わせ sakisuzu@kanto-gakuin.ac.jp